

【情報提供】琵琶湖でのアオコの発生について(第2号)

令和4年8月8日(月)9時30分～10時30分頃にかけて、県琵琶湖保全再生課の職員が矢橋船溜、北山田漁港、赤野井地先でアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学研究センターでプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでしたのでお知らせします。

琵琶湖におけるこれまでのアオコの発生状況は、滋賀県ホームページ「今日の琵琶湖」(<http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)をご覧ください。

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(℃)	構成プランクトン (群体系数/mL)
矢橋船溜 (草津市矢橋町)	8月8日 9時32分	20m×5m	4	31.8	ミクロステイス属 3,100 アナバナ属 8,700 アファニゾメノン属 20 オシラトリア属 500
北山田漁港 (草津市北山田町)	8月8日 9時56分	5m×2m	4	32.7	ミクロステイス属 980 アナバナ属 4,700 アファニゾメノン属 140 オシラトリア属 40
赤野井地先 (守山市赤野井町)	8月8日 10時38分	5m×1m	4	33.2	ミクロステイス属 30,000 アナバナ属 40,000 アファニゾメノン属 60 オシラトリア属 1,500

〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。 レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。  
レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



矢橋船溜



北山田漁港



赤野井地先

